

令和8年度 定期予防接種について

令和8年度の定期予防接種を以下のとおり実施しています。市から届く「こども健康手帳」や「接種案内」を必ずご確認ください、適切な時期に接種できるようにしましょう。

種類・回数		標準接種年齢	令和8年度の接種案内の対象者
五種混合	第1期初回(3回)	生後2か月～7か月	標準接種年齢になりましたら、なるべく早く接種を開始してください。予診票は「こども健康手帳」に綴られています。
	第1期追加(1回)	初回(3回)終了後6～18か月の間隔で	
小児用肺炎球菌	初回(3回)	生後2か月～7か月	
	追加(1回)	生後12か月～15か月	
B型肝炎	初回(2回)	生後2か月～9か月に至るまで	
	追加(1回)		
ロタウイルス	1価(2回)	初回接種は生後2か月～14週6日までに接種	
	5価(3回)		
BCG	1回	生後5か月～8か月	
水痘	1回目(1回)	生後12か月～15か月	
	2回目(1回)	1回目終了後6か月～12か月後	
麻しん風しん混合(MR)	第1期(1回)	1歳を迎えたら早めに	
	第2期(1回)	5歳(年長児)	令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ
二種混合	1回	小学校6年生	平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ
日本脳炎	第1期初回(2回)	3歳～4歳	令和5年4月2日～令和6年4月1日生まれ(3歳になったら)
	第1期追加(1回)	4歳～5歳	令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれ(4歳になったら)
	第2期(1回)	小学校3年生	平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ(9歳になったら)
	特例措置	平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの20歳未満の方	1期～2期の不足分を公費(全額無料)で接種できます。
子宮頸がん(9価ワクチン)	計2～3回 開始年齢で異なります。	小学6年生～高校1年生相当女子	平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれの女子